

土木と市民社会をつなぐ活動の調査表

2018/8/27

この資料は、土木学会の「シビルNPO推進小委員会」が、既に行われている「土木と市民社会をつなぐ活動」を調べたものです。数人の委員が短時間で調べましたが、100件弱の情報が見つかりました。
 皆さんは、これに漏れている活動を沢山ご存じだと思います。しかし、全部をご存じの方は居ないでしょう。それらを全部集めて、全国民に知って貰うことを目指します。

土木学会

通番	組織の分野	実施組織	活動内容(タイトル)	市民社会の対象者	備考
1	土木学会	コンサルタント委員会/BC研究小委	土木の語り部・体験教室!	一般市民	
2	土木学会	コンサルタント委員会/BC研究小委	ドボジョグ	一般市民	主に東京の土木施設や土木人の記念碑等を回りながらジョギングをする
3	土木学会	コンサルタント委員会/市民交流研究小委員会	土木ふれあいフェスタ in「地名」くらしと安全をささえる土木	一般市民(主婦・子供も)	全国大会において開催地の駅や公共施設を利用して、土木を紹介
4	土木学会	コンサルタント委員会/市民交流研究小委員会	女子中高生夏の学校2015 ~科学・技術・人との出会い~	女子中高生	
5	土木学会	教育企画・人材育成委員会/キッズプロジェクト検討小委員会	小中学校の「総合的な学習の時間」および理科・社会などの教科教育における学習支援(環境、暮らし・地域)	小中学生	
6	土木学会	教育企画・人材育成委員会/キッズプロジェクト検討小委員会	くらしと土木に関する市民や小中学生のための地域活動紹介	小中学生	
7	土木学会	教育企画・人材育成委員会/キッズプロジェクト検討小委員会	土木と生涯学習のかかわりに関する調査研究	小中学生	
8	土木学会	土木図書館委員会/ドボ博小委員会	ドボ博(オンライン土木博物館)		WEBサイト
9	土木学会	広報センター	土木i:どぼくアイ~土木の情報源~		WEBサイト
10	土木学会	広報センター	土木の日シンポジウム2017	一般市民	「土木の日」を活用して市民にこれから土木学会がやることを広報
11	土木学会	中部支部	土木の日市民見学会(名古屋主催)	一般市民	市と連携して土木に関わることを広報
12	土木学会	関東支部	どぼくカフェ	一般市民(土木学会先生・学生)	土木のテーマを設定し、一般市民に話題提供(ダムカリー・真田丸等)
13	土木学会	中国支部	・平成29年度土木遺産認定式 ・鳥取県岩美町の旧山陰道の石畳(蒲生峠など)を選定	・岩美町教育委員会、鳥取大学、一般市民...計50名参加	・平成12年に認定制度を設立して18年間、推薦および一般公募により、全国で年間20件程度を選出している ・中国支部は会年度1~2件程度を選定、昨年は鳥取イオンモールで発表、地元紙にも掲載 ・市民参加のもとでの保全や活用策が展開されている
14	土木学会	中国支部	・第10回身近な土木を描いてみよう!~図画コンクール ・1219点の応募~うち優秀賞13点、佳作51点を選定	・中国5県の小中学生が対象 ・展示と表彰式には一般市民が参加	・広島県造形教育連携の協力を得て審査会を設立、従来は広島市内に発表展示 ・H29年度に初めて広島ではなく、鳥取市の商業施設で展示と表彰式を行っている
15	土木学会	中国支部	・夏休み親子見学会 ・建設中の「錦川ダム」を見学	・山口県岩国市内の小学生の親子51名が参加	・既に建設業協会では全国規模での「親子見学会」を実施しており、協働か単独かは解らない ・一方で、土工協が平成14年から取り組んでいる「100万人の市民見学会」が平成17年で達成できたとの報告
16	土木学会	中国支部	・土木ツアー ・「鳥取西道路・第二気高トンネル」現場見学	・鳥取県の親子56名が参加	・上記団体との協働・単独は解らない
17	土木学会	中国支部	・土木カフェ ・タイトルは「宇宙戦艦ヤマト2199の工事を建設会社が受注したら」について、前田建設・岩坂氏と京大高橋教授とのトーク	・参加人数は不明だが幅広い層に受けそう	・人通りの多い、イオンモール鳥取北セントラルコートで開催 ・写真によれば20~30名が写っている
18	土木学会	中国支部	・夏休み土木実験教室 ・ホワイトセメントとカラーチョークを混ぜて構造物をつくる	・東広島市の小学生39名が参加	・昨年完成した近代ホール、東広島市芸術文化ホールくらら工作室にて開催
19	土木学会	中国支部	・インフラツーリズム ・山陽道福山SAに設置されたスマートICの工事現場と、選奨土木遺産「別所砂溜」を見学	・福山市内の親子14名が参加	・インフラツーリズム~「山陽編」として実施 ・「別所砂溜」は雨量の少ないこの地域に江戸時代に築造され、近傍の住民によって維持保全がなされている
20	土木学会	中国支部	・中国支部研究発表会 ・高齢インフラに維持補修報告 ・若手技術者交流講演会 ・土木シニア講演会 ・平成29年度工事報告会	・一般市民の参加がないので除外	・あくまで「土木技術者向けの研修」が目的

他学会

通番	組織の分野	実施組織	活動内容(タイトル)	市民社会の対象者	備考
21	学会	(公社)日本地すべり学会	県民講演会「他人事ではない土砂災害~災害に学び、災害に備える~」 ・災害と防災のための心理学 ・伝説と土石流災害	一般市民	平成29年度 第56回研究発表会
22	学会	(公社)日本地すべり学会関西支部	シンポジウム「土砂災害防災教育の最先端」	一般市民	
23	学会	(公社)地盤工学会	宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会『宅地評価の基礎知識と宅地防災』	一般市民	
24	学会	(公社)地盤工学会	市民向け行事「こども地盤学会」	一般市民	第48回地盤工学研究発表会
25	学会	(公社)地盤工学会	市民向け行事 ・地盤品質判定士による住宅地盤相談会 ・住宅地盤に潜むリスクに関する講演会 ・起震車による地震体験(イベントホール)	一般市民	第52回地盤工学研究発表会
26	学会	(公社)地盤工学会	市民向け行事 ・地盤品質判定士による住宅地盤相談会 ・知りたい!宅地の安心、安全講演会 ・地盤の成り立ちから讃岐うどん文化を考えよう	一般市民	第53回地盤工学研究発表会
27	学会	(公社)地盤工学会 岡山地域防災教育WG 協力	防災パンフレット「ももたろうの防災」制作	一般市民(子供、家族)	岡山県危機管理課企画・制作 損保ジャパン日本興亜協力

28	学会	(公社)地盤工学会 関東支部	地盤工学PRコンテスト「科学体験教室：これぞ君も地盤博士だ！暮らしを支える身近な“地盤”の世界を覗いてみよう！」	小学生・中学生（幼児も可）とその保護者	平成30年研究発表会
29	学会	(公社)砂防学会	企画セッション「豪雨に関する最近の気象観測および予測技術」、特別講演「日本最古の鬼伝説とたたら」	一般市民	
30	学会	東京スリパチ学会			ぶらタモリに情報提供

大学・高校等

通番	組織の分野	実施組織	活動内容(タイトル)	市民社会の対象者	備考
31	高校	水戸桜ノ牧高校・常盤大学	地域の農産物、ダムによる地域おこし	一般市民	
32	大学	名古屋大学減災連携研究センター	防災アカデミー、減災カフェ	一般市民	
33		東北大学災害科学国際研究所	金曜フォーラム	一般市民	
34	大学	埼玉大学	埼玉大学連続市民講座 2017:「埼玉を流れるもの—水と人—」 ・「安全、安心な埼玉の交通」(小嶋准教授) ・「荒川流域の環境とこれからの管理に私たちがすべきこととは?」(藤野准教授) 2015:「過去から見える、埼玉の未来」 ・「景観に刻まれた技術の足跡」(窪田教授)	一般市民	社会連携・地域連携の一般として2010年より毎年行なわれている公開講座
35	大学	岩手大学 三陸復興・地域創生推進機構/地域防災教育研究部門(地域防災研究センター)	・三陸沿岸での安全・安心な地域づくり ・災害文化の醸成・実践・継承 ・三陸モデルの発信	一般市民(地域全体)	
36	大学	日本大学理工学部	出張講義「CSTサイエンスアカデミー」	高校生	理工学部教員による出張講座

NPO・非営利団体等

通番	組織の分野	実施組織	活動内容(タイトル)	市民社会の対象者	備考
37	NPO等	21_21 DESIGN SIGHT、(公財)三宅一平デザイン文化財団	土木展	一般市民	・各種メディアで紹介あり 例1) インターネットミュージアム(博物館、イベント検索等) 例2) ソトコト(ディレクターを務めた西村浩氏の記事) 例3) レッツエンジョイ東京(イベント検索サイト)
38	NPO	国境なき技師団	自然災害の復興支援、被害低減技術の普及、防災教育、国際的防災研究の推進	地域住民他	土木・建築学会の賛同、支援 外務、国交省、JAICとの連携
39	NPO	噂の土木応援チームデミーとマツ	学校で学べない土木体験を通じて土木の役割、大切さを子供に教えている。	子供	
40	NPO	ダムカレー協会	地域おこし	一般市民	
41	NPO	あすの夢土木	安威川ダム(大阪府茨木市)現場見学会等(大阪市)	一般市民	社会資本の実情を国民に効果的に広報し、理解を深めてもらうとともに、社会資本の整備・管理に携わる人材の確保と、その育成を図る
42	NPO	ジオクロス工法研究会	ジオクロス工法に関する分野において、調査研究及び教育普及活動(東京都)	一般市民	住宅地盤の品質向上、環境汚染をしない安価な軟弱地盤対策を推進
43	NPO	技術ネットワーク	土木技術や科学技術など様々な技術の継承・育成・指導など(東京都)	一般市民(技術のいる団体)	現在第一線から離れている技術者の技能の伝承
44	NPO	GSデザイン会議	全国各地の総合的なまちづくりや空間デザインに関する実践的知見を共有および提供(東京都)	まちづくりや空間デザインに関わる専門家や行政職員および一般市民、学生	シンポジウム、講習会、関連書籍の出版等による情報発信およびネットワークの拡充
45	NPO	コンクリート技術支援機構	土木及び建築分野のコンクリート技術を主体に、調査・研究及び技術開発と、その支援活動(京都市)	一般市民(不特定多数の個人・団体)	社会教育の推進と技術の伝承を図るとともに、構築物の品質改善と高耐久性の確保に助力し、環境を保全する諸活動により地域の安全と健全なまちづくりを推進
46	NPO	香川シニア土木技術者協働クラブ	香川県下のインフラ整備及び防災活動(香川県)	一般市民	香川県下の経験豊富なシニア土木技術者をインターネット上の共通広場に集結し、各人の保有技術の維持継承向上を目指す
47	NPO	橋の長寿命化システム研究会	定期的な橋の調査・点検・診断を行い各自治体に提案(千葉市)	一般市民	各自治体で建設された貴重な資産である道路構造物(橋梁)を対象とし、土木技術者と市民の参加による相互扶助の精神の基、普段の生活及び自然災害時におけるライフラインの確保を第一の目標
48	NPO	櫻蘭の郷	タイ王国の子ども達を始めとする若年齢層に対して、語学能力向上のための交流事業、土木建築等の技術指導事業及び地域住民の就業支援事業(静岡県)	タイ王国の子供達	タイ王国の子ども達の健全育成及び日本国とタイ王国との国際協力の増進に寄与する
49	NPO	あそ地下足袋倶楽部	郷土を守るため代々継承されてきた土木施工技術等を、この地域で仕事に携わるものに対し、研修会、受託事業等(栃木県)	一般市民	地域の人々が土木事業等に理解を深めるよう種々啓発事業を行い、安全で健やかに暮らせる地域づくりに寄与する
50	NPO	都市災害に備える技術者の会	土木・建築・都市計画の専門家・実務家及び幅広く技術に関心を持つ者等が、防災・減災に関する活動(兵庫県)	一般市民	安全な地域づくりに寄与する
51	NPO	北海道耐震防災事業団	耐震防災の重要性を広める活動(札幌市)	一般市民	民間の所有する建物や地盤等の耐震に関する相談窓口となり、住環境にも配慮しながら多くの建築物、土木工作物等の耐震性の向上を図る
52	NPO	コモンズ	建築、都市計画、土木の専門家による第三者組織として、公共空間整備等における市民参加と合意形成の支援に関する事業(徳島県)	一般市民	市民と行政のパートナーシップによるまちづくりを通じて、社会全体の利益の増進に寄与する
53	NPO	シビルまちづくりステーション	シビルNPO連絡会議の事務局	一般市民	市民参加・市民協働による国土づくり・まちづくりを推進・支援
54	NPO	環境防災総合政策研究機構(CeMI)	・シンポジウム・フォーラム/連携調整/教育・人材育成/まちづくり支援・図上訓練/書籍や看板等の製作及び監修/情報発信・提供	一般市民	
55	NPO	NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク	JVOAD技術系専門委員会	技術系NPO等	災害時に生活再建支援を行う技術系NPO等の活動とりまとめ
56	NPO	風組関東	・災害時:家屋の復旧等の支援活動 ・平常時:技術系災害ボランティア講習会等	一般市民・被災者	
57	NPO	防災模型じっけん楽会	薄いシートで地盤はなぜ強く?ドボク模型プレゼン講座IIほか模型実験紹介サイト	一般市民	防災学習をかんたんに分かりやすく。小学生に伝えたい土木の教室

58	会社	(特活)ハピタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン及び日本ヒルティ株式会社	海外建築ボランティア参加者にむけた安全セミナー	学生	海外で住居建築を行うボランティアの学生にむけ、建築現場の安全についてのトレーニング講師を派遣
59	市民団体	JR可部線利用促進同盟会 (この団体はNPO登録はされていない)	・JR可部線の復活延伸事業 ・同線は1994年に非電化区間46.2kmが廃止、内1.6km(2駅)が昨年2017年に電化復活した	・体表者を含む同盟会は、安佐北区可部7学区の自治会町内会長など役員を主体に20団体、賛助会員56人の組織	・JRで一旦廃止した路線の復活は全国初として話題になった 現在日99本が運行 ・これは沿線自治会が、JR西日本を相手に、一般市民、技術者、県や市を巻き込み、マスコミ報道は途中経過を含めて100回を超える ・巷のNPO以上のスゴイ活躍である
60	その他非営利団体	広島大学地域経済研究センター 地域経済研究推進協議会	・地方創生と地域金融のあり方	・今年は参加者100人の9割が銀行幹部で、私のNPOだけが異色だった	・年2回、メルハルクホールで実施 ・広島大学、中国経済連合会、地元大企業、広島県、広島市などが主なスポンサー ・毎年3時間*8講座の討論型講義(=博士号取得コース)
61	その他非営利団体	中四国シンクタンク協会(都市計画協会中国支部など。銀行系シンクタンクも参照)	・1年間の研究活動発表会 ・中四国地域で活躍するNPO等の活動報告もある	・協会会員が主体だが、誰でも参加OK ・30~40人規模	・毎年1回、広島大学・講義室で実施 ・昨年は「地方創生」への取組活動報告が中心テーマだった
62	NPO	NPO法人州都広島を実現する会	・2018.02に「未来の年表~人口減少・広島でこれから起きること」と題してシンポジウム	・経済界、シンクタンク、大学、行政、地方議会、マスコミなどのほか、一般市民合計150人が参加	・毎年1~2回開催し、過去11回で100人~最大400人規模のイベントを実施 ・毎回テーマの基本は、広島を中心に中四国地域の地域づくり・地域政策への提言

建設関連企業・団体

通番	組織の分野	実施組織	活動内容(タイトル)	市民社会の対象者	備考
63	業界団体	(一社)関西地質調査業協会	H29滋賀県総合防災訓練「子どもがかぶりつき!液状化実験」、「津波実験装置」、「私の家の地盤診断」	一般市民	
64	業界団体	日本建設業団体連合会(日建連)	・平成30年度事業計画 <基本方針の重点事項>は、1建設技能者の処遇改善、2働き方改革、3生産性の向上、4建設市場の合理化、5建設市場の的確かつ円滑な推進、6インフラ輸出戦略の貢献、7建設業の社会的責任としての活動、8建設企業の健全な発展、9建設業への理解促進、10東京オリパラに向けた建設業の役割	・市民向けの活動は7項と9項が該当する	・7項を要約すると、①災害対応体制の確立→随意契約など非常時の起動的な入札方式の導入など、②安全衛生対策の推進→労働災害を防止し、一般市民への巻き添えや影響の絶無を期する、③環境対策の推進→低炭素社会、循環型社会、生物多様性など地球環境への配慮。 ・9項を要約すると、①建設業の役割やイメージアップを発信する(特に震災や災害復興への姿勢をアピール)、②広報誌、HP一般メディア見聞する努力、③平成14年に設定した100万人の現場見学会は昨年に到達したので、目標値を500万人に引き上げ継続実施する
65	業界団体	建設コンサルタンツ協会	・平成30年度事業計画 <事業項目>は、1魅力あるコンサルタント活動基盤、2品質の確保・向上、3技術の向上と技術力による選定の促進、4広報活動の強化と社会貢献活動の推進、5倫理の保持、6社会資本整備のあり方提言、7協会組織の充実、8支部活動の強化	・協会加盟社に向けた利益確保に向けた活動が中心で、市民向けの活動は事業計画の第4項のみ	・4項を要約すると、(1)建設コンサルタントのイメージアップを図り、建設コンサルタントの役割や活動が一般国民に理解・評価されるよう、広報活動、情報発信を積極的に行う。(2)「魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進」のため、学生懸賞論文、建コンフォト大賞等の公募と表彰などを継続して行う。(3)協会活動、委員会活動の広報と他団体や海外の情報を含めた様々な情報提供のため、ホームページの充実、会誌、年次報告書や建設コンサルタント白書等を発行する。(4)社会資本整備の必要性や建設コンサルタントの理解促進のため、発注機関等への委員派遣や全国の学校への講師派遣等を行う。また、支部を中心として、まちづくり等へのボランティア活動に積極的に参画する。(5)支部において締結される行政機関等との災害協定や広域災害時の支援活動等に関する課題について、その対応策などの協議を継続して実施する。また、災害時対応演習を今年度も継続して実施する。
66	業界団体	日本建設業連合会	「100万人の市民現場見学会」 ・発注者と連携し、日建連支部や会員企業が関与見学会 ・旧日本土木工業協会(土工協)が2002年(平成14年)に開始	現場周辺の住民(子供を含む)や建設工事に興味のある一般市民	・一般の方に建設業の正確な姿を理解してもらい、建設業の応援団になってほしいという思いから見学会をスタートさせた。 ・2017/11に参加者300万人を達成。

インフラ事業者

通番	組織の分野	実施組織	活動内容(タイトル)	市民社会の対象者	備考
67	本四高速	本州四国連絡高速道路(株)岡山管理センター	・「瀬戸大橋スカイツアー」	・一般市民(但し小学生3年未満、心臓病患者などを除く)	・2018年5月瀬戸大橋開通30周年記念イベントとして、900人に175mの登頂体験を実施 ・過去にも小規模なイベントは実施している
68	道路公社 ゼネコン	広島高速道路公社と大林組・大成建設・広成建設JV	・高速5号二葉山トンネル工事	・一般市民、事業反対住民、マスコミなど全てに対応	・数年にわたる地盤沈下、振動、地下水、植生への懸念から反対運動を経て2016に本格再開の事業案件 ・「現場ステーション」という市民が自由に入出りできるハウスと専用駐車場を設け、徹底的に「市民に開かれた工事」を実現 ・マスコミ報道は100回を超えるだろう
69	道路公社	広島高速道路公社	・高速3号供用開始前・市民ウォーキング	・一般市民約1,000人程度が参加	・広島の都市高速道路は1~5号までであるが、何れも供用開始前に、オープンセレモニーとして市民ウォーキングを実施している

国・地方自治体等

通番	組織の分野	実施組織	活動内容(タイトル)	市民社会の対象者	備考
70	公的機関	国土交通省総合政策局	見学会・民間主催ツアーの紹介		観光資源開発
71	国・地方自治体	防災教育チャレンジプラン実行委員会(内閣府防災)	防災教育の場の拡大や質の向上	一般市民(学校)	防災教育への経費支援、アドバイス
72	国・地方自治体	国土交通省(防災教育ポータル)・文部科学省・総務省消防庁・内閣府防災担当等	防災教育の普及	一般市民	防災教育の情報提供等
73	国	国土交通省近畿地方整備局近畿技術事務所	ふれあい土木展	一般市民	

74	国	国土交通省各地方整備局	(ダム・堰・水門施設見学、灯台施設見学)	一般市民	
75	国	国土交通省総合政策局	インフラツーリズムポータルサイト	一般市民	全国の民間主催/現場見学のインフラツーリズムのポータルサイト
76	国交省	国土交通省中国整備局企画部	・2017建設技術フォーラム in 広島	・建設界以外に一般市民にも広く開放	・平成21年度より全国各地の国交省整備局のある都市で順次実施 ・産学官(建設関係団体、大学、行政)が主体 ・開催場所は広島中央公園、全76ブース ・2018年は名古屋会場で「建設フェア」という呼び名で実施の予定
77	県	広島県	土砂災害防止「県民の集い」 ・基調講演「土砂災害を知る・備える・行動する」 ・事例報告(三次市危機管理、三次市酒屋地区自主防災会会長、広島県砂防課長) ・土砂災害防止に関する展示 ・土石流3D体感シアター ・降雨体験機 ・防災Web操作実演	一般市民	平成27年度
78	広島県	広島県八幡湿原自然再生協議会(事務局は広島県自然環境課、受託コンサルタントなど)	・「八幡湿原自然再生事業」 ・環境省が主導する全国34のモデル事業の一つ	・「同協議会」は、国県市以外に専門家、各種NPO団体、地域住民、公募の一般市民で構成	・「同協議会」は法定協議会として事業の決定権限を有し、広島県は事務手続きを担当するだけ。非常に先進的な事業体制である。 ・マスコミ報道は30回を超えるだろう ・平成18年から現在に至る(調査～設計～施工～現在は維持・管理・運営の課程)
79	広島県	広島県道路企画課	・「鞆地区道路整備計画」 ・福山市鞆の歴史的景観地区の海側橋梁案撤回か山側トンネル案かの選定を巡る道路計画問題	・著名人を含む全国組織VS地元住民 ・訴訟案件となる	・1983年架橋計画策定、1995年街並み保存が問題化、2007年著名人を含む全国組織が景観保全で訴訟、二転三転で結審、2012山側トンネル案の調査 2018地元説明 ・マスコミ報道は200回を超えるだろう
80	広島市	広島市都市整備調整課と復権調査設計(株)	・2014年広島土砂災害復興まちづくりビジョンの策定	・安佐南区・安佐北区の関係地区の住民	・我が国最大の都市型土砂災害(死者77名)への市作成の復興ビジョン案に、住民へのWS方式で意見を取り入れ、2015年「復興まちづくりビジョン」として正式にまとめた
81	浜田市	浜田市観光協会	・「幻の広浜鉄道を巡る女子旅コース」 ・島根県技術士会が技術面でバックをサポートしている ・これまでに数回以上企画されている	・額面上は「女子旅」だが、一般市民が誰でも参加可能 ・観光協会の「女子旅」は後付けのオプションだが?・中身はかなり高度	・広島～山陰の浜田間を55分で結ぶという新幹線計画で、約1/3出来たところで頓挫し、幻のプランに終わっている。 ・現在、山陰新幹線の運動が盛り上がるなか、我国の国土政策を学習する材料になるだろう ・本件は、土木学会土木史研究会、全国未成線サミットなどの活動ともリンクしている ・マスコミ報道は10回を超えるだろう
82	三次市	三次市教育委員会(沿線7市町の内、三次市が事務局を務めている)	・石見銀山街道ウォーキング ・街道ウォーキング以外にも多様なイベントの取組がある	・一般市民 ・歴史街道のなどに ・関心のある方の参加が多い	・世界遺産の石見銀山を中心に、島根県大田市から広島県尾道市までの7市町にまたがる歴史街道の日本遺産登録を目指す活動の一環。 ・江戸幕府～明治期にかけて交流が盛んで、当時の街道や街並みが多く現存している。 ・その保全活動も盛んにおこなわれている。
83	大竹市	大竹市歴史研究会「ケーブルテレビちゅピcom」制作部	・歩いて発見! 西国街道 大竹路 ・これまでも、数多くの歴史ウォーキングや講演会などが開催されている場所	・一般市民	・西国街道とは大和と九州の大宰府を結ぶ、かつて奈良時代に遡る第一級の官道 ・芸防国境にあって、地形が急峻で数々の戦の歴史が刻まれ、道路史の上でも興味深い ・近世の歴史に関心のある人には既知の観光スポット
84	呉市	呉市倉橋島観光協会	・軍事遺跡「亀ヶ首旧海軍工廠 大砲試射場跡」見学会 ・広島や呉には軍事遺跡は多数ある中、これは超マニアックな遺跡である	・一般市民約20名が参加 ・年間に1～2回開催されている程度	・土木の源流を迎えるシビルエンジニアに対する「ミリタリーエンジニア」と言えよう ・戦艦大和に搭載される大砲の性能試験を行った施設なので、これはスゴイ遺跡で・・感動ものである ・場所が瀬戸内海中央部にあって、ガイドなしでは訪問が困難な辺地にひっそりと佇む

展示館・見学会・その他

通番	組織の分野	実施組織	活動内容(タイトル)	市民社会の対象者	備考
85	展示館	国、地方公共団体、企業等	展示等(上下水道、河川・治水、ダム、原子力・火力発電、鉄道・交通、橋梁、道路、防災、戦災復興・災害復興、街並み、開拓・干拓、海洋、地下資源、その他個人・技術一般)	一般市民	全国で230余り
86	その他	土木写真家 西山芳一	展示会等	一般市民	
87	その他	作家 高橋哲郎	著作等	一般市民	
88	その他	各種	防災減災カードゲーム、ポケドボ(土木学会) Tractor Crew、ランブルシティ、そのトフスもんの木(土木学会企画)シリーズ、見学しよう工事現場(溝淵利明監修)シリーズ他	子供、一般市民	
89	その他	各出版会社		子供向け	子供のための土木絵本 土木学会「ツギシタ」で紹介例あり(87冊)
90	旅行関係	岡山両備バスほか(不定期のツアーが多く実施される)	・土木巧者・津田永忠の遺跡巡り	・一般観光者 ・歴史観光に関心のある人など	・岡山発展の基盤(インフラ)を築いた土木屋 ・岡山藩に仕えた土木巧者「津田永忠」の史跡(多数の治水事業、農地開発、牛窓港、閑谷学校、後楽園、吉備津神社など)多数現存 ・土木学会全国大会(岡山)での基調講演の題材、併せて史跡見学ツアーが実施された
91	旅行関係	一ノ俣温泉ホテル(山口県下関市)	・土木施設の見学ツアー付き ・絶景で有名な海上の角島大橋と風量発電施設の見学	・一ノ俣温泉ホテル宿泊者が対象	・往復で40km位あるのに、ホテル側でバスを仕立てて見学サービスを実施している

メディア

通番	組織の分野	実施組織	活動内容(タイトル)	市民社会の対象者	備考
92	メディア	TV	プロジェクトX(黒四ダム)		NHKティーチャーズライブラリー(DVDを学校無無料で貸出)の対象。学習展開例として「後世に残す仕事、やり遂げることの大切さを考える」こと等が紹介
93	メディア	TV	ぶらタモリ		